

## 【市長コメント】

沖縄防衛局から、日本時間の本日午前6時40頃、ハワイのペローズ空軍基地において、米海兵隊所属のMV-22 オスプレイが、着陸時に事故を起こし、死傷者が発生しているとの情報提供があった。

宜野湾市には、住宅密集地の普天間飛行場に、事故機と同型機であるMV-22 オスプレイ 24 機が配備され、市民は同じような危険性の中で生活しており、いかなる事故もあってはならず、今回の事故発生は誠に遺憾である。

日米両政府に対し、事故の状況把握と原因究明を早急に行い、その結果について速やかに公表するよう求めるとともに、今後のオスプレイの運用に際し、一層の安全対策を講じるよう強く求めるものである。

私は、普天間飛行場を絶対に固定化することなく、9万6千名余の市民の悲願である一日も早い閉鎖・返還と、5年以内運用停止をはじめとする危険性の除去及び基地負担軽減を早急に実現するために、引き続き全力で粘り強く取り組む所存である。

平成 27 年 5 月 18 日

宜野湾市長 佐喜眞 淳